

避難タワー完成

二〇一三年春に、龍藏院公益活動の一環として、本堂東側に、避難タワー倉庫を建設いたしました。柱はすべて鉄筋でできており、頑丈です。二階建てになっており、津波等の有事に備えた避難施設としての機能があります。



龍藏院寺報

第三号

発行所
匝瑳市野手1824
龍藏院法務所



一、暑中御見舞申し上げます。

「生きているあかしの暑さ寒さかな！」という俳句がありますが、夏暑いと感じるのも健康のあかしと思いたしましょう。お盆を迎えました。七代に亘る父母を一応ご先祖といいますが、父の父母、母の父母と七代までさかのぼって数えてみると何人になりますか計算してみましよう。過去・現在・未来に亘る命の永遠性ということに想いをめぐらし、ご先祖への感謝をこめてご家族そろって墓参りをしましょう。お墓は永遠の心のふるさとです。

二、釈迦仏教の原点

生きてこの世にある人間の根源的な苦は、「生・老・病・死」でこれを四苦という。この人間苦をどう理解納得し、どう人生を全うするかというのが仏教々説の原点です。

三、縁起の法（おしえ）とは

人生は先ず最初に因がありそこに縁が作用して果が生ずる。つまり縁起の法とは原因と結果のかかわりを説いたもの。世の中の全ての現象には必ず原因があり、その原因があればこそ結果が生じる。そしてその原因がなければそれに伴う結果は無い。世の中の現象や物事は、全てがおたがいに関わり合って結果が生じている。

つまり縁起の法とは、起きたことの原因を知るといふことです。悩みの原因、苦の原因を知ってその原因を解決すれば悩み苦しみは無くなり、苦の原因が滅すれば苦も滅する。悩みや苦しみの原因を探ってみましよう。どうしてそうなったのかよく考える。縁起はかつぐものではなく、苦の原因を知りそこから解放される教えです。（仏遺教経より）

（主な行事）

- ◆ 一月五日
新年初祈願護摩法要
- ◆ 一月十六日
初墓参り（寺への年賀）
- ◆ 二月十五日
お釈迦様涅槃絵
しやかさまねはんえ
- ◆ 八月十二日
盆総供養
新盆精霊特別法要
無縁精霊施餓鬼会
檀家先祖代々各霊
戦没英霊
戦災殉難者等
- ◆ 八月十三日
墓参（寺への盆供）
- ◆ 春秋彼岸
- ◆ 毎月一回ご詠歌研修発心会
（入会者歓迎）
- ◆ 会社・役所等の社員職員の
研修会申込次第随時行
います。

龍藏院役員

檀頭	土屋 誠
総代	石橋 勲
総代	山崎 三郎
総代	土屋 正
総代	林 照夫
世話人	大久保 俊夫
	林 幸雄
	作佐部 明義
	熱田 康雄
	大久保 忠良
	中村 克己
	島田 久四郎
	越川 昇
	伊藤 為吉
	伊藤 静
	佐久間 孝雄
	大久保 庸雄
	土屋 清一
	穴澤 諒
	熱田 清三
	嶋田 一夫
	田村 彦一

龍藏院末寺・縁故寺院

- ・西小笹地区 妙福寺
住職 龍藏院住職兼任
- ・東小笹地区 慈眼寺
住職 龍藏院住職兼任
- ・登戸 吉祥院
住職 龍藏院副住職
- ・縁故寺院
・大浦堀之内 蓮花寺
住職 大津永聖
(龍藏院副住職)



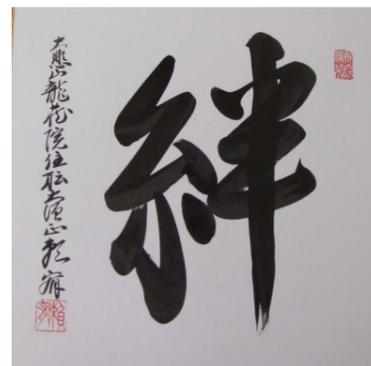
寺子屋「ガールスカウト」 2013年6月開催



六月十六日に、寺子屋「ガールスカウト」が開催されました。参加人数は二十五名程です。内容は、住職による法話と本堂においての仏教音楽体験（声明・御詠歌・鉢）、仏教に関するQ&A、記念品授与（「絆」の色紙）、「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりの種まきと盛り沢山の内容でした。

六月十六日に、寺子屋「ガールスカウト」が開催されました。参加人数は二十五名程です。内容は、住職による法話と本堂においての仏教音楽体験（声明・御詠歌・鉢）、仏教に関するQ&A、記念品授与（「絆」の色紙）、「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりの種まきと盛り沢山の内容でした。

六月十六日に、寺子屋「ガールスカウト」が開催されました。参加人数は二十五名程です。内容は、住職による法話と本堂においての仏教音楽体験（声明・御詠歌・鉢）、仏教に関するQ&A、記念品授与（「絆」の色紙）、「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりの種まきと盛り沢山の内容でした。



総本山功労章 護法功労章

受章



住職は昭和三十四年京都総本山・真言宗智山派宗務庁に勤務。教学部（子弟教育担当）、財務部。総務部（課長）・財務部（部長）・責任役員・川崎大師京都別院初代執事二代目主監等に在職。社会的職務として保護司・千葉刑務所教誨師（八日市場拘置支所兼任）

右により社会功労章・宗治功労章等を本山より拝受。そして今回二つの功労章を拝受する次第となりました。改めて檀家皆様にご報告申し上げますと共に御法縁に対し篤く御礼申し上げます。

